

# ポリファーマシーについて

第  
25

回  
岩手県立中央病院糖尿病ネットワーク勉強会

糖尿病の患者さんに限らず、高齢の患者さんは複数の医療機関からおどろくほど多くの薬剤を処方されていることはめずらしいことではありません。高齢者では処方される薬の種類が6つ以上になると薬物有害事象の発生リスクが高まると言われていますが、忙しい日常診療の中で、複数の医療機関の処方調整することは困難なのが現状です。

今回の勉強会では、当院のポリファーマシーへの取り組みと当院で現在処方している糖尿病薬を薬剤師がご紹介します！

みなさんでポリファーマシーについて考えてみませんか。



## 8月29日

2019年 8月29日(木) 19時～20時

会場：岩手県立中央病院 4階大ホール又は3階視聴覚室

対象者：糖尿病治療に携わる医師、看護師などの医療従事者

糖尿病患者に関わるケアマネージャー、訪問看護師、  
介護福祉士などの介護従事者

参加費無料／事前申込不要／当日は直接会場にお越しください

内容

講義

1

【当院 薬剤師 高橋 伶歌】

当院で現在採用している糖尿病薬について、  
ご紹介します。

講義

2

【当院 薬剤師 津軽石 玲於】

当院のポリファーマシーに対する取り組みについて、  
ご紹介します。

お問い合わせ

岩手県立中央病院

糖尿病・内分泌内科外来

☎019-653-1151(内線2157)

- 糖尿病診療に携わる方、又は興味のある方など職種を問わず参加いただけます。
- 岩手県医師会生涯教育講座1単位の認定申請を行っております。
- 当院駐車場をご利用の方には無料駐車券をお渡しいたします。